

平成29年度協働事業報告会（28年度事業実施分） 質疑応答

「戦国時代の鎌倉の歴史遺産デジタルアーカイブ事業」（市民活動団体提案協働事業）

（玉縄城址まちづくり会議 / 文化財課、国宝館）

- Q 人件費が一番大きな部分になっている。ここに関しては業者に丸投げすることも出来たと思うが、玉縄城址まちづくり会議さんでなければならない特色を教えてください。
- A （団体）まちづくり会議には50数名の会員がいて、色々な専門家や学者が入っている。また、通常購入できない機材を使用したりと、団体の会員でしかできないことを行っていた。
- Q 予算について、報告書の収支決算では収入が38万円で支出が38万円となっている。企画書に市から30万円、会から20万円の予算で、なおかつ人件費は30万円近くになっていた。50万円の予算に対して収入がいくら、それに対して実績がどうであったかという予算の執行状況を評価するのが普通であるが、わかりづらい部分があった。予算の執行についてお聞きしたい。
- A （担当課）市の予算の執行について、市の負担金30万円は当初交付決定の段階で最終的な支出額の合計が市の当初予定していた負担金を下回った場合、負担金の一部を返還するという事になっていた。今回当初予定していた全体の予算50万円までの執行はいかなかったが、30万円を上回る支出があったということで30万円の支出をしているという状況である。
- Q 市民の中の専門家が集まってやっていて市に代わる事業を実施し、質の高さを感じた。今後の展望について、教えてください。
- A （団体）市、国宝館で持っていない重要文書もあるので、可能であれば市と協働で、先の長い仕事を一緒にやっていきたいと思っている。